

# 一般会計予算決算常任委員会記録

令和5年9月5日

【開催日】 令和5年9月5日（火）

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午後1時～午後1時40分

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	笹木慶之
委員	伊場勇	委員	大井淳一朗
委員	岡山明	委員	奥良秀
委員	白井健一郎	委員	恒松恵子
委員	中岡英二	委員	中島好人
委員	福田勝政	委員	藤岡修美
委員	古豊和恵	委員	前田浩司
委員	松尾数則	委員	宮本政志
委員	森山喜久	委員	矢田松夫
委員	山田伸幸	委員	吉永美子

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	高松秀樹		
----	------	--	--

【執行部出席者】

副市長	古川博三	企画部長	和西禎行
財政課長	山本玄	財政課主幹	別府隆行
財政課財政係長	江本洋治	財政課調整係長	原川寛子

【事務局出席者】

局長	河口修司	局次長	中村潤之介
議事係主任	岡田靖仁		

【付議事項】

- 1 議案第47号 令和4年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について

中村博行委員長 皆さんこんにちは。ただいまから、一般会計予算決算常任委員会を開会します。本日の審査日程については、お手元に配付してありますとおり進めてまいります。議案第 47 号令和 4 年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定についてですが、審査方法については、昨年同様に、事業審査を中心に行います。既に、皆さんに配付してありますが、各分科会で選定されました審査対象事業の事務事業評価シートの様式については、昨年度と同様で、変更はありません。では、執行部に、令和 4 年度決算の総括説明を求めます。

山本財政課長 それでは、令和 4 年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定につきまして、財政課から総括的な説明をします。お手元の議案、歳入歳出決算書の 5 ページをお開きください。歳入歳出決算総括表といたしまして、歳入額につきましては、前年度と比較して、市税や地方交付税、繰越金などの増があるものの、臨時財政対策債の減額などがありました市債の大幅な減のほか、地方特例交付金や国庫支出金などの減により、7 億 3,079 万 7,028 円減の 326 億 9,189 万 7,909 円となりました。歳出額につきましては、前年度と比較して、価格高騰緊急支援給付金給付事業費や子育て世帯応援給付金給付事業費の皆増のほか、山口東京理科大学施設整備事業費、高千帆小学校校舎建設事業費、災害復旧費、公債費などの増があるものの、本庁舎改修事業費や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費、公立保育所整備事業費の減などにより、3 億 1,280 万 8,578 円減の 318 億 344 万 2,656 円となり、歳入歳出差引額は 8 億 8,845 万 5,253 円となりました。このうち、令和 5 年度に繰り越すべき財源 2 億 4,188 万 2,087 円を除いた 6 億 4,657 万 3,166 円が残高となり、翌年度に繰り越しております。それでは、6 ページ、7 ページをお開きください。歳入としまして、1 款市税から、10 ページ、11 ページの 22 款市債までの予

算現額、調定額、収入済額などにつきまして、記載しております。また、財政課より事前にお配りをしております一般会計予算決算常任委員会審査参考資料には、対前年度比較表を掲載しておりますので、こちらも併せて御覧ください。それでは、歳入の主な内容です。6ページ、7ページの1款市税につきましては、固定資産税における滞納繰越額などの減はありましたが、市民税における個人所得割や法人税割、固定資産税における家屋、償却資産などの増により、市税全体では、前年度と比較して、以下千円単位で申し上げますが、3億2,864万円増の103億2,186万4,000円となりました。次に、2款地方譲与税につきましては、特別とん譲与税の増などにより、対前年度1,333万9,000円増の1億9,407万4,000円となりました。次に、5款株式譲渡所得割交付金につきましては、対前年度2,126万2,000円減の2,846万3,000円、6款法人事業税交付金につきましては、対前年度237万2,000円減の1億6,202万2,000円となり、7款地方消費税交付金につきましては、対前年度4,549万円増の14億3,553万9,000円となりました。また、6ページから9ページまでの10款地方特例交付金につきましては、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の減などにより、対前年度1億3,600万9,000円減の6,600万3,000円となりました。続いて、11款地方交付税のうち、普通交付税につきましては、多額の追加交付がありました令和3年度と比べますと、基準財政需要額が減となった一方で、基準財政収入額は増となり、本来であれば、交付額は減となる状況ですが、交付税原資であります国税の伸びを背景に、普通交付税から臨時財政対策債への振替額が大幅に圧縮されたことなどから、対前年度3億3,635万8,000円増の72億8,294万円となりました。また、特別交付税につきましては、対前年度5,157万1,000円増の6億9,643万6,000円となりました。次に、13款分担金及び負担金につきましては、災害関連地域防災崖崩れ対策事業地元分担金の皆減や、高齢者福祉費負担金、保育所運営費負担金の減などにより、対前年度702万8,000円減の1億

5, 566万5, 000円となりました。14款使用料及び手数料につきましては、急患診療所診察料や公営住宅使用料の減などにより、対前年度996万5, 000円減の4億1, 954万9, 000円となりました。次に、15款国庫支出金につきましては、公立学校施設整備事業費負担金や災害復旧費国庫負担金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増などがありましたが、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金や、新型コロナウイルス感染症セーフティーネット強化交付金、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る負担金及び補助金の減などにより、対前年度4億5, 732万2, 000円減の56億6, 849万9, 000円となりました。また、16款県支出金につきましては、県議会議員選挙事務費の皆増や自立支援給付費の増などがありましたが、災害関連地域防災崖崩れ対策事業費や県知事選挙事務費の皆減などにより、対前年度1, 888万円減の18億7, 129万3, 000円となりました。続いて、17款財産収入につきましては、市有地売払収入の減などにより、対前年度1, 947万8, 000円減の3, 991万5, 000円となりました。18款寄附金につきましては、ふるさと寄附金や教育費寄附金、総務費寄附金の増などにより、対前年度1, 735万1, 000円増の1億4, 008万5, 000円となりました。19款繰入金につきましては、減債基金繰入金の皆増やまちづくり魅力基金繰入金の増などがありましたが、新幹線厚狭駅整備基金繰入金の皆減や、公立大学法人運営基金繰入金、ふるさと支援基金繰入金などの減により、対前年度1, 778万4, 000円減の3億1, 572万9, 000円となり、20款繰越金につきましては、対前年度6億8, 536万7, 000円増の13億644万4, 000円となりました。それでは、10ページ、11ページをお開きください。続きまして、21款諸収入につきましては、天然ガス利用設備導入支援事業費補助金の皆増のほか、リサイクル事業収益金や、スポーツ振興くじ助成金の増などがありましたが、市税滞納延滞金や、派遣職員給与費負担金、学校給食費の減などにより、対前年度693万9, 000円減の8億8, 381万8, 000円となりました。22款市債につきまして

は、大学整備事業債、商工センター除却事業債の皆増のほか、消防施設整備事業債などの増がありましたが、庁舎整備事業債や、保育所施設整備事業債、臨時財政対策債の減などにより、対前年度15億608万3,000円減の15億6,616万円となりました。次に、12、13ページをお開きください。歳出としまして、1款議会費から次の14、15ページの13款予備費までの予算現額、支出済額、不用額などを記載しております。歳出の主な内容につきまして、目的別に見ますと、1款議会費につきましては、議場システムに係るリース料の皆減や、議員期末手当の増などがあり、対前年度9万2,000円増の2億2,363万2,000円となりました。2款総務費につきましては、市民館改修事業費の皆減のほか、減債基金積立金や、本庁舎改修事業費、選挙費の減などがありましたが、LABVプロジェクトに関連した負担金や、地域交流センター費、公立大学に係る施設整備補助金の皆増のほか、空き家対策費や、災害応急工事委託料の増などにより、対前年度1,305万7,000円増の62億3,246万3,000円となりました。次に、3款民生費につきましては、価格高騰緊急支援給付金給付事業費や子育て世帯応援給付金給付事業費の皆増のほか、自立支援給付費、生活保護扶助費の増などがありましたが、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費や、子育て世帯への臨時特別金給付事業費、公立保育所整備事業費の減などにより、対前年度12億157万6,000円減の112億6,792万4,000円となりました。次に、4款衛生費につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種事業費や、一般廃棄物処理施設に係る維持管理費及び補修費などの減がありましたが、ごみ処理施設長期包括運転管理業務委託料の皆増や、病院事業会計への繰出しの増などにより、対前年度3,798万2,000円増の26億6,094万2,000円となりました。5款労働費につきましては、雇用能力開発支援センター改修費の改修経費の皆増などにより、対前年度326万6,000円増の3,859万1,000円となりました。次に、6款農林水産業費につきましては、旧有線放送局舎解体事業費の皆減のほか、農業集落排水事業への繰出しや、埴生漁港改修事業費など

の減がありましたが、農地集積協力補助金や、肥料価格高騰対策補助金の皆増のほか、県事業負担金、西の浜排水機場整備事業費の増などにより、対前年度3,788万7,000円増の4億5,784万4,000円となりました。次に、7款商工費につきましては、飲食店等支援給付金の皆減のほか、交通施設バリアフリー化整備事業補助金や工場設置奨励金などの減がありましたが、用地取得奨励金や本社機能移転奨励金の皆増のほか、地方バス路線維持費補助金の増などにより、対前年度8,551万9,000円増の10億711万9,000円となりました。続きまして、12ページから15ページの8款土木費につきましては、公的賃貸住宅用地購入費や、小野田駅前地区都市再生整備計画事業費の皆減のほか、道路橋梁維持費などの減がありましたが、江汐公園施設整備基金積立金の皆増のほか、河川しゅんせつ事業費や、公共下水道事業への繰出し、市営住宅改修事業費の増などにより、対前年度9,819万6,000円増の23億8,319万1,000円となりました。次に、9款消防費につきましては、埴生分団庫整備事業費の皆減などがありましたが、消防組合費分担金や、山陽消防署埴生出張所整備事業費の増などにより、対前年度1億5,732万1,000円増の12億4,803万7,000円となりました。10款教育費につきましては、地域交流センターへの移行に伴う公民館費の皆減のほか、埴生小・中学校整備事業費などの減がありましたが、高千帆小学校校舎建設事業費や厚狭中学校トイレ改修事業費の増などにより、対前年度877万5,000円増の24億2,034万2,000円となりました。11款災害復旧費につきましては、農業施設災害復旧費や学校施設災害復旧費の皆増のほか、道路橋梁河川災害復旧費の増などにより、対前年度1億1,618万4,000円増の1億2,530万4,000円となりました。12款公債費につきましては、地方債利子償還金、一時借入金利子償還金は減となりましたが、地方債元金償還金の増により、対前年度3億3,048万8,000円増の37億3,805万4,000円となりました。次に、歳出におきまして、性質別の決算額について御説明します。お手元の一般会計予算決算常任委員会審査参考資料の3ページ

を御覧ください。電子データでの配布になっているかもしれません。

中村博行委員長　ここで資料の確認のため、暫時休憩します。

---

午後 1 時 2 1 分　休憩

---

---

午後 1 時 3 2 分　再開

---

中村博行委員　休憩前に引き続きまして、委員会を続けます。山本課長よろしくお願ひします。

山本財政課長　それでは、歳出における性質別の決算額について、御説明します。お手元の一般会計予算決算常任委員会審査参考資料の 3 ページを御覧ください。まず、人件費につきましては、給料や時間外勤務手当などの減がありましたが、会計年度任用職員報酬や消防団員報酬の増などがあり、対前年度 5 6 万 6, 0 0 0 円増の 4 3 億 3, 4 8 0 万 7, 0 0 0 円となりました。物件費につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種事業費などの減がありましたが、ごみ処理施設長期包括運転管理業務委託料の皆増や、商工センターなどに係る解体事業費の増などにより、対前年度 3 億 6, 2 8 9 万 3, 0 0 0 円増の 4 2 億 6, 1 5 4 万 7, 0 0 0 円となりました。次に、扶助費につきましては、電力ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金の皆増や、自立支援給付費、生活保護扶助費などの増がありましたが、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金や子育て世帯への臨時特別給付金の減などにより、対前年度 8 億 5, 5 5 5 万 9, 0 0 0 円減の 6 6 億 4, 6 7 4 万 3, 0 0 0 円となりました。補助費等につきましては、高度無線環境整備推進事業補助金や飲食店等支援給付金の皆減のほか、公立大学に対する運営費交付金などの減がありましたが、子育て世帯応援給付金や用地取得奨励金の皆増のほか、消防組合費分担金の増などにより、対前年度 5 億 1, 2 2 1 万



6,000円増の61億1,360万9,000円となりました。次に、公債費につきましては、地方債利子などの減がありましたが、大学校舎等整備事業などの大型事業に係る元金償還の本格化に伴う地方債元金の増により、対前年度3億3,002万4,000円増の37億3,805万4,000円となりました。積立金につきましては、公立大学法人運営基金積立金や山陽消防署埴生出張所建設基金積立金などの増がありましたが、減債基金積立金の減などにより、対前年度1億7,708万5,000円減の10億3,253万3,000円となりました。投資及び出資貸付金につきましては、下水道事業会計への出資金の増などにより、対前年度6,634万7,000円増の6億835万7,000円となりました。繰出金につきましては、国民健康保険特別会計繰出金などの減がありましたが、介護保険特別会計繰出金や後期高齢者医療特別会計繰出金の増により、対前年度1,760万5,000円増の27億4,209万4,000円となりました。投資的経費では、普通建設事業におきまして、山口東京理科大学施設整備事業費や高千帆小学校校舎建設事業費などの増がありましたが、市民館改修事業費の皆減のほか、本庁舎改修事業費、山陽地区公立保育所整備事業費の減などにより、対前年度6億8,373万9,000円減の20億743万5,000円となりました。また、災害復旧事業費は、農業施設災害復旧費の皆増や、道路橋梁河川災害復旧費の増などにより、対前年度1億1,820万1,000円増の1億2,737万2,000円となりました。次に、歳入歳出決算書にお戻りください。一般会計歳入歳出決算に関する説明書につきましては、歳入は62ページから、歳出は134ページから掲載しております。また、375ページには、実質収支に関する調書、376ページから387ページまでには財産に関する調書を掲載しております。最後に、令和4年度決算に係る主要財政指標ですが、財政力指数につきましては、3か年平均で対前年度0.024ポイント減の0.563、単年度では対前年度0.003ポイント減の0.546となっております。また、経常収支比率につきましては、臨時財政対策債を経常一般財源とした指数で、対前年度6.4ポイント増の95.9%

となっております。以上、一般会計歳入歳出決算につきまして、総括的な説明をしました。御審査のほど、よろしく申し上げます。

中村博行委員長 執行部の説明が終わりました。質疑については、各分科会で該当部分の審査の際に行いたいと思いますが、このたびの一般会計決算全体に通ずる総括的な質疑がありましたら、ここでお願いします。質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）質疑なしと認めます。以上で、質疑を終わります。一般会計決算に係る議会の事業評価の方法は、昨年度と同様に、分科会としての事業評価を行うよう、お願いします。分科会長は、分科会で協議した結果を記入した事業評価表を事務局に提出してください。また、決算の歳入の質疑については、今年度も、審査番号ごとに、決算書の歳出の質疑終了後、歳入についての質疑があれば行うものとします。事務局から歳入歳出の担当課が分かる資料が配付されていると思いますので、事前に質問事項を整理し、円滑な委員会運営ができるよう、御協力ください。なお、市税、交付税等の一般財源については、所管となる総務文教分科会で歳入の質疑を行いますので、よろしく申し上げます。以上で、一般会計予算決算常任委員会を散会します。お疲れさまでした。

---

午後 1 時 4 0 分 散会

---

令和 5 年（2023 年）9 月 5 日

一般会計予算決算常任委員長 中 村 博 行